

1. 科目名 (単位数)	日本語学 I (音声・音韻) (2単位)		3. 科目番号	EJJP2121
2. 授業担当教員	山口 雅代			
4. 授業形態	講義と演習		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	学習者の発音を指導するためには、日本語の音声についての知識が必要である。本講座では、日本語の音声についての一般的な概要を行い、日本語の音声がどのように産出されているのかについて学ぶ。また、演習では実際に発音し、日本語教育におけるモデルとなる音声について理解する。			
8. 学習目標	1) 日本語の音声の仕組みを理解する。 2) 日本語学習者の母語について、苦手とする音を知る。 3) 日本語の音声をコントロールし、産出できるようになる。 4) 日本語学習者の発音上の問題点を理論的に指摘できる。 5) 日本語学習者の発音を矯正できる。			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	毎回、ワークシートを配布するので、授業後に提出する。 発音練習の課題として最初の時間に第14回で読む原稿を渡すので、アクセントやイントネーションに注意し、日本語教師のモデル足り得る発音ができるよう練習する。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】高見沢孟監修『新・はじめての日本語教育 1』アスク、2016。 【参考書】榎本正嗣著『現代日本語発音の基礎知識』学文社、2006。 猪塚恵美子・猪塚元著『日本語の音声入門』バベルプレス、2003。 田中真一・窪園晴夫著『日本語の発音教室 理論と練習』くろしお出版、2004。 戸田貴子著『日本語発音レッスン』スリーエーネットワーク、2004。 文化庁『音声と音声教育』大蔵省印刷局、2001。 など			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 日本語の音声の仕組みを理解し、説明できるか。 2. 日本語学習者の発音をどう矯正したらよいか説明できるか。 ○評定の方法 授業への出席や日常の受講態度、課題・発表、期末試験等を総合して評価する。 1. 授業への出席・態度 総合点の30% 2. 課題・発表 総合点の30% 3. 期末試験 総合点の40% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位修得を認めない。			
12. 受講生へのメッセージ	日本語の音声が、どこで発音され、どのように音が出されるのか、日本語学習者に説明できるようにするために、自身の発音やイントネーションを見つめなおすこと。			
13. オフィスアワー	初回授業時にプリントにて知らせる。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション、課題説明 第2章 日本語の音声 1. 日本語の「音」	事前学習	自分の苦手な日本語の発音を確認する。 p.24 読んで理解する。	
		事後学習	できなかった発音を見直し、ワークシートに記入する。	
第2回	2. 日本語の音節	事前学習	pp.25～28 を読んで理解する	
		事後学習	ワークシートに記入する。	
第3回	2. 復習と確認問題	事前学習	p.29 の確認問題を行う。	
		事後学習	音節と音韻について確認する。	
第4回	3. 日本語のリズム	事前学習	pp.29～30 を読んで理解する。	
		事後学習	ワークシートに記入する。	
第5回	4. 日本語の母音	事前学習	pp.31～32 を読んで理解する。	
		事後学習	ワークシートに記入する。	
第6回	5. 日本語の子音 I 調音点 II 調音方法	事前学習	pp.32～34 を読んで理解する。	
		事後学習	ワークシートに記入する。	
第7回	5. 日本語の子音 II 調音方法 III 有声音・無声音	事前学習	pp.34～36 を読んで理解する。	
		事後学習	ワークシートに記入する。	
第8回	5. 復習と確認 6. 日本語の半母音	事前学習	p.37 の確認問題を行う。	
		事後学習	ワークシートに記入する。	
第9回	7. 日本語の「音素」	事前学習	pp.37～39 を読んで理解する。	
		事後学習	ワークシートに記入する。	
第10回	8. 母音の無声化	事前学習	p.40 を読んで理解する。	
		事後学習	ワークシートに記入する。	
第11回	9. 日本語のアクセント I アクセントと意味の弁別 II アクセントと語のまとまり	事前学習	pp.40～41 を読んで理解する。	
		事後学習	ワークシートに記入する。	

第12回	9. 日本語のアクセント Ⅲ日本語のアクセントの型 Ⅳ日本語のアクセントの特徴	事前学習	pp.41～43を読んで理解する。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第13回	10. 日本語のイントネーション（音調）	事前学習	p.44を読んで理解する。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第14回	課題読み発表	事前学習	原稿を正しく読めるように練習する。
		事後学習	できなかった発音を見直す。
第15回	日本語の音声の特徴についての復習	事前学習	ワークシートを見直す。
		事後学習	試験のための総復習を行う。